

# 平成29年度 取組結果



## 目的

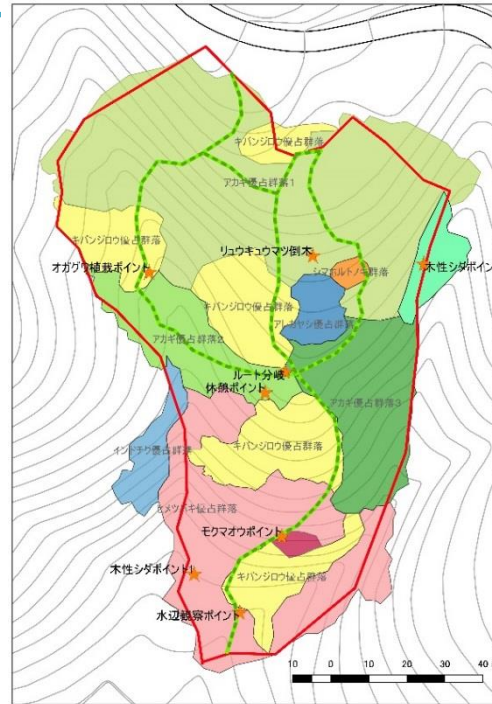
- ◆村は、「人と自然の共生する村づくり」を村政の基本理念に掲げ、返還50周年を迎える。
- ◆小笠原固有の樹木「オガサワラグワ」をシンボルとした森づくりを村民参加・協働で取り組み、小笠原の自然を身近に感じられる場と機会を創出する。
- ◆林木育種センターとの連携により希少種の保護にも貢献する。

## プロジェクト準備状況

- ◆平成28～29年度  
現況調査(植生調査等)、残材整理、ルート設定を実施  
今後、森づくり計画を策定予定
- ◆平成30年1月～  
林木育種センターからクローン  
苗が順次到着し、野生研が順  
化を開始



1月のおが丸で里帰りした  
父島産オガグワのクローン苗



予定地：父島の長谷ダム上流の  
農地跡の二次林

## 村民参加の取組

- ◆平成29年8月27日：生きもの観察、森づくり体験
- ◆平成30年1月20日：森の地図づくりイベント
- ◆平成30年2月4日：道づくり体験会



## 平成30年度の予定

- ◆4月～：植栽予定地でのアカギ駆除、ルートづくり、環境整備
- ◆11月：返還50周年を記念して第1回植栽イベントを実施

## 今後の課題

- ◆将来像(植生、利活用)の検討と共有
- ◆継続的な維持管理体制の構築



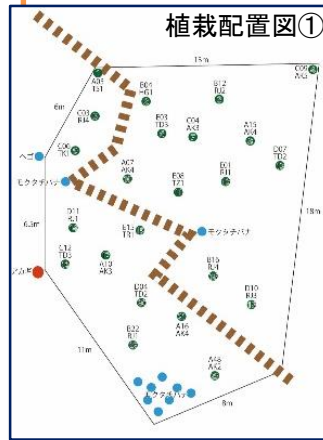
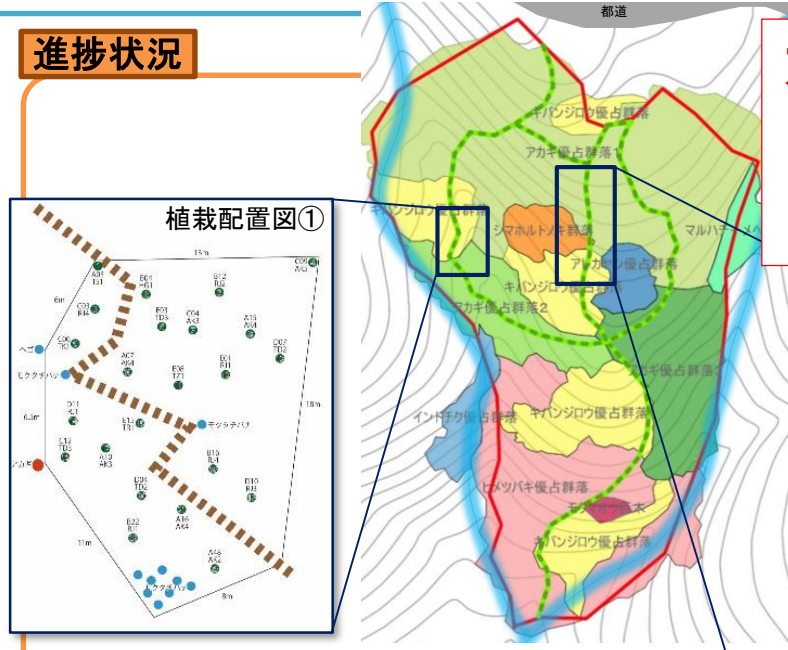
## 目的

- ◆ 返還50周年を契機として小笠原固有の樹木「オガサワラグワ」をシンボルとする自然を身近に感じられる場と機会の創出
- ◆ 林木育種センターとオガサワラグワ保全に関する覚書を締結

## これまでの経緯

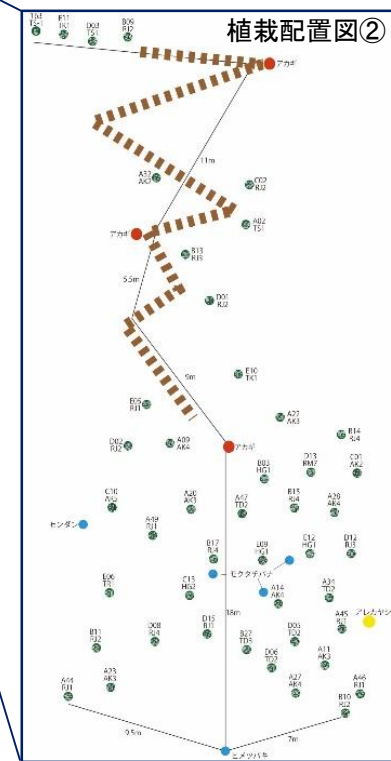
- ◆ 平成28～30年度
  - ・ 現況調査(植生調査等)、残地材処分、アカギ大径木伐採、ルート設定等を実施
  - ・ 生き物観察や地図づくり、道づくりイベントを開催
- ◆ 平成30、31年の1～3月
  - ・ 林木育種センターからオガサワラグワのクローン苗が到着し、野生研が順化・育成

## 進捗状況



## オガグワの森

父島の長谷ダム上流の2つの沢に挟まれた約1haの在来種と外来種が混成した二次林



実施日	参加村民(スタッフ)	内容
H30.5.6	25名(6名)	林内の片付け
H30.9.8	38名(10名)	道づくり
H30.12.9	71名(23名)	在来種の植樹
H31.3.16	(実施予定)	維持管理

## 今後の課題

- ◆ 将来像(植生、利活用)の検討と共有
- ◆ 継続的な維持管理体制